

産業建設常任委員会

① 観光振興について

本市には全国に誇る観光資源が多くありますが、まだまだ全国的に認知度が低く、PR不足が否めない状況にあります。本市特産品（米沢牛、地酒、ラーメン、リンゴ等）の更なるブランド化に取り組み、全国に発信していかなくてはならないと認識しています。また、通過型の観光から滞在型の観光地づくりに向けて、その仕組みづくりやインフラ・施設面の整備が必要であると考えます。

② 企業誘致について

今後、県・国との連携を強固にして情報収集に努めなくてはなりません。また、八幡原中核工業団地などの民間企業からの聞き取り調査を行い、当委員会でも既存企業の立地決定要因を把握し、さらに本市操業に優位性がある企業に対し、職員が主体的に戦略的な企業誘致を推し進める必要があります。

③ 産業創出、中心市街地活性化について

工学部卒業生の多くが県外に流出しているという現状もあり、産学官金との連携を推し進め、大学生発のベンチャー企業の設立、新産業の創出を支援する必要があります。また、中心市街地の空き店舗等の利用を促進し、市内での創業支援を推進するため、共有スペースなどの環境整備を図ることが求められています。

④ 除雪について

流雪溝は、本市の除雪体制の有効な手段であると認識しています。しかし、市内には未整備区間が多く、水量不足もあるため、今後は農業用水や下水処理水などの使用も検討する必要があります。また、他市の事例を参考にしつつ、豪雪地帯の除雪方法についても検証し、より効果的な手段の調査、研究を進めていくことが必要です。

⑤ 新道の駅について

本市が進める新道の駅は、国の重点「道の駅」に指定されており、国をはじめ県、周辺自治体との更なる連携を密にし、他に例がないような特色ある道の駅を目指す必要があります。設置後は、東北中央自動車道の利用者が必ず立ち寄るような本市の魅力を発信し、地域振興や市内観光へ結びつく施設となることが求められています。また、観光客のみならず、恒常的に市民も利用しやすい道の駅を作ることが求められています。